

【6/18(金)～28(月)】天才漫画家の活動40周年記念

『19<NINETEEN>』『B.Bフィッシュ』『C』『ホットマン』…

きたがわ翔の原画展「Grateful」、1年ぶりで東京開催決定

株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都港区、代表取締役社長:井川幸広)が協力する、「きたがわ翔原画展 -40th Anniversary- ～ Grateful(グレイトウフル)～」が、6月18日(金)～28日(月)まで、東京・吉祥寺リベスタギャラリー創にて開催されます。

きたがわ翔さんは、1981年、わずか13歳の時に「番長くんはごきげんななめ」(『別冊マーガレット』)でデビューした漫画家です。1988年から週刊ヤングジャンプで連載された『19<NINETEEN>』が大ヒット。男性向けコミックながらも繊細なタッチとさわやかなストーリーで、若者たちから絶大な支持を獲得。1990年にはOVA化もされました。また、家族の絆を描いた『ホットマン』(集英社)は、TBSで2度ドラマ化された話題作です。他にも、『B.B.フィッシュ』や『C』、『刑事が一匹…』(講談社)、『デス・スウィーパー』(角川書店)など、卓越した画力と幅広く多彩な作風でも知られています。

2019年・2020年と東京・大阪で開催された同氏の原画展は大好評。過去作品の原画やイラストの他、描き下ろしのアート作品が展示され、原画や複製原画、オリジナル限定グッズも販売されました。今年は、きたがわ翔さんの漫画家デビュー40周年で、多くのファンから原画展開催を望む声を受け、新型コロナウイルス感染対策を万全にした上で、40周年を記念した約1年ぶりの開催が実現いたしました。きたがわ翔さんの作品を生で見られるのは原画展だけ。きたがわ翔さんが会場を訪れることも予定されており、ファンの方々のみならず、漫画家を目指す方にもおすすめの原画展です。

きたがわ翔原画展 -40th Anniversary- ～ Grateful(グレイトウフル) ～ 概要



©2021 Sho Kitagawa

■日時

2021年6月18日(金)～6月28日(月) 11:00～18:00

*最終日は16:00まで

■場所

リベスタギャラリー創

住所: 武蔵野市吉祥寺東町1-1-19

TEL/FAX: 0422-22-6615

E-Mail: galler@libest.co.jpURL: <http://www.libestgallery.jp/>

■入場料

無料

■協力

株式会社クリーク・アンド・リバー社

■作者・きたがわ翔
プロフィール

きたがわ翔は1981年にデビューした漫画家。男性、O型。

1981年中学2年のとき、第159回

『別冊マーガレット』(集英社)

まんがスクールへの応募で

『番長くんはごきげんななめ』

が佳作受賞。

同年『番長くんはごきげんななめ』(『別冊マーガレット』)で

デビュー。1986年『ヤングジャンプ』に『TEENSしようか』を

隔週連載、青年誌の活動の場を移す。1988年から同誌で

連載した『19<NINETEEN>』は主人公と作者の実年齢が

ほぼ等しく、10代終わりの微妙な心理をリアルに描き、

読者の支持を得、ビデオアニメ化もされる。また、画力に支え

られた卓抜したトーンワークも特徴。1990年からは『ヤングジャン

プ』で水泳が題材の『B.B.フィッシュ』を連載した。家族の絆

を描いた『ホットマン』(集英社)は、TBSで2度テレビドラマ化さ

れる(2003年、2004年)。また、『C』(集英社)、

『刑事が一匹…』(講談社)、『デス・スウィーパー』(角川書店)、

『ソウルメッセンジャー』[原作:藤沢とおる](集英社)、

『アントルメティエ』[原作:早川光](集英社)など幅広く多彩な

作風を持っている。2020年現在、漫画家歴39年を超えて、今

も精力的に執筆活動を行っている。



©Sho Kitagawa

公式Twitter: https://twitter.com/kitagawa_sho

きたがわ翔作品集 2019-2021 発売決定!

【取材のお申し込み先】

株式会社エススタジオ

担当: 太田

E-Mail: purpose_1@mac.com

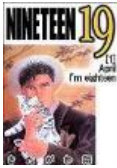
≪新型コロナウイルスなどの感染防止対策について≫

本イベントは新型コロナウイルスなどの感染防止対策として、スタッフのマスク着用のほか、来場される皆様に手指消毒やこまめな手洗いやうがいの協力をお願いしております。発熱や体調不良など風邪のような症状のある方は、来場をご遠慮くださいますようお願いいたします。

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jpTEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL: <https://www.cri.co.jp>

きたがわ翔 コミック作品 (抜粋)



『19 <NINETEEN>』 <http://amzn.to/2BIMXQu>

1988年から1990年にかけて週刊ヤングジャンプ(集英社)で連載された『19 <NINETEEN>』。代官山学院大学1年生でラグビー部に所属する主人公・久保田一至の恋愛を描いた青春ストーリーです。ある日、中学時代のクラス会で憧れのマドンナ・藤崎雅菜と再会を果たします。彼女いない歴18年の一至の恋の行方はどうなるのか。恋愛を通して人間的成長を描いた『19 <NINETEEN>』は、男性向けコミックながらも繊細なタッチとさわやかなストーリーで絶大な支持を得て、1990年にはOVA化もされた大人気作品です。



『19 FOREVER Prologue』 <http://amzn.to/2BpFT5g>

『19 FOREVER Prologue』は、2010年12月にオー・スーパー・ジャンプ(集英社)に1話限り掲載された『19 <NINETEEN>』の続編。45歳を迎えた主人公・久保田一至は、父の介護をしながらサラリーマンとして働く毎日。働く会社は吸収合併されることが決まり、人生に虚しさばかりを感じて日々を過ごしています。そんな折、19歳の頃に働いていた喫茶店「do」にそっくりのお店を見つけます。中から出てきたのは、25年前に亡くなったはずの「do」の店長にそっくりの人物。この人物は一体…? 単行本にも未収録の幻の1話。現在、電子書籍版が配信されています。



『19 FOREVER』 <https://amzn.to/2H1zR1M>

『19 FOREVER』は、「CP限定永久保存版」きたがわ翔『19 FOREVER』制作プロジェクト達成により制作された『19 FOREVER Prologue』の続編。25年前に亡くなったはずの「do」の店長にそっくりの人物との出会いが、主人公・久保田一至が会社員としての人生を変えるきっかけに。49歳を迎えた主人公・久保田一至は一体、どのような人生を選択したのか。きたがわ翔さんの『19 <NINETEEN>』への愛、キャラクターたちへの愛、そしてファンたちへの愛に溢れた作品です。ファン必見の感動作!



『B.B.フィッシュ』 <https://amzn.to/2NH5Wwd>

1990年末から約3年にわたり、週刊ヤングジャンプ(集英社)に連載された青春ラブストーリー。幼い頃、毎日のように海へ出かけた葉山潮(主人公)にとって海は母親の体温のようなものだった。ある日、海辺で金髪少女、神無月沙羅と出会った潮は、風で飛ばされた彼女の帽子が海に流され、その帽子を魔法使いのような速さで追いかける。8年後、高校生になった潮だが、いつの間にか水恐怖症になり、泳ぐことに恐怖を感じていた。そして潮は沙羅と再会し…。



『C』 男性失格 <https://amzn.to/38zra8o> マゼンタ・ハーレム <https://amzn.to/2VRUqV0>
 モンロー・ジョーク <https://amzn.to/2lIWug6> ほんとうの行方 <https://amzn.to/2VMqny1>

“C(シー)”はコンプレックスのC。この作品はコンプレックスを抱える人たちへのメッセージ。「男性失格」、「マゼンタ・ハーレム」、「モンロー・ジョーク」、「ほんとうに行方」… “C”は、これら4つの異なるストーリーからなるオムニバス作品です。コンプレックス(劣等感)に悩む現代社会の人間模様を蒼く、美しく、そして優しく抱きしめるように描かれた特別なコミックス。※現在電子版は新しい表紙イラストを採用した合本版になっています。



『HOTMAN』 <https://amzn.to/2TuSWPQ>

1997年から2000年にかけて、週刊ヤングジャンプ(集英社)に連載された、家族の絆と成長を描いた作品。元不良で高校の美術教師をしている“ホットマン”こと降矢円造。彼の目標は、この世から一切の食品添加物を抹殺する事。アトピーに苦しむ娘・七海や愛する家族の為、ヘルシーバカな毎日。だが、過剰ともいえるそのこだわりの理由は…? 2003年、2004年と2回にわたり、TBSでドラマ化。反町隆史さんや矢田亜希子さん、小西真奈美さん、市川由衣さんなど、豪華俳優陣が出演し、人気を博しました。

きたがわ翔 原画展 グレートツフル
 -40th Anniversary- ~ Grateful ~

2021年 6月18日(金)～6月28日(月)
 時間 12:00-18:00 入場無料
 場所 東京 吉祥寺 リベストギャラリー 創

昨年もご好評いただきました原画展が、今年も決定いたしました。活動40周年を記念した本展では、過去作品一新作描き下ろしイラストの展示を始め、貴重な原画や新作の作品集、複製画を販売いたします。

きたがわ翔 Twitter
 @kitagawa_sho

協力: 株式会社クリーク・アンド・リバー社



原画を展示予定の『HOTMAN』イラスト

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

本社: 東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE

設立: 1990年3月

代表者: 代表取締役社長 井川幸広

拠点: 東京(本社)・大阪・札幌・仙台・大宮・横浜・船橋・高崎・金沢・名古屋・京都・神戸・高松・広島・福岡・熊本・那覇 / ソウル・上海・北京・ロサンゼルス

事業内容: 映像、ゲーム、Web、広告・出版、作家、医療、IT、会計、法曹、建築、ファッション、食、コンピュータサイエンス、ライフサイエンス、舞台芸術、CXO、アスリート、アグリ18分野でプロフェッショナルに特化したエージェンシー(派遣・紹介)、プロデュース(請負・アウトソーシング)、ライツマネジメント(知的財産)事業を展開。プロフェッショナルの叡智で革新的な事業を無限に創造している。

URL: <https://www.cri.co.jp> (コーポレートサイト) / <https://www.creativevillage.ne.jp/> (CREATIVE VILLAGE)

【報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL: 03-4550-0008 FAX: 03-4550-0018 URL: <https://www.cri.co.jp>